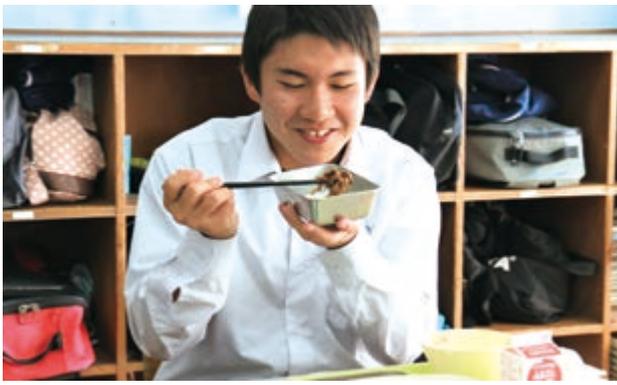


学校給食に「常陸牛」を提供



給食センターでは、「おいしい給食の実現」に向けた取り組みとして、調理員の増員（5名）や新たに総括主任（2名）、総括主任補（1名）をそれぞれ選任しました。献立の調理方法や衛生管理などについて、栄養士や栄養教諭と週に一度の打ち合わせを行い、これまで以上に多彩で細やかな調理作業に取り組んでいます。

その一環として、11月9日・16日・17日、市内小中学校で茨城県のブランド牛「常陸牛」を使用した学校給食を提供しました。

新型コロナウイルスの影響により和牛の需要が減少した畜産農家を支援するため、県が実施している事業を活用したものです。常陸牛は、茨城県畜産協会からいただいたもので、牛丼に調理し、児童生徒に提供。今後も常陸牛や地元産の茨城県ブランド豚「常陸の輝き」を使用した給食を提供する予定です。

岩井一小2年生市役所庁舎を見学



11月13日、岩井第一小学校の2年生が、生活科学習の一環として市役所庁舎を訪れました。

当日は2班に分かれ、自然エネルギーを活かした庁舎を見学したほか、「春レタス」「夏ねぎ」などの坂東市が生産量日本一を誇る野菜や、市の概要などについて学びました。

児童たちは、市や庁舎に関するさまざまな質問を行い、真剣な表情でノートに書き留めていました。

